

各支部で久しぶりのリアル住宅デーが始動

酒井区長も激励に 親子で楽しめる企画満載

中野



指導員の説明に興味津々。指さしているのが酒井区長

6月5日、中野支部松上分會は上

高田二丁目公園で住宅デーを開催しました。

会場には、木工作(本立てトレイ、小物入れ、ペン立て、タイル絵コナー、コップアイ、丸太切り、クロス貼り体験等

々、親子で楽しく取り組める企画が満載。特に女性の会で担当したベトボトルのキャップを使ったミニチュアの帽子はカフフルでエコ感もあって、子どもたちに大人気でした。各ブースの指導員には若い組合員が目立ちましたが、鎌田直毅分會長の事業所の仲間です。また、休憩ブースのテントには、「本日の職人」と紙が貼られ担当者が紹介さ

れていました。

正午ごろには、5月の中野区長選挙で再選を果たした酒井直人区長が来場、仲間を励まし、来場者と歓談しました。「周辺の3小学校にチラシを配布しました。雨予報で心配でしたが、多くの親子が来て、楽しんでくれたと思います。仕事起こしのイベントとして発展させたいです」と鎌田さんは話してくれました。

全会場でモザイクを 「見るとやるとじゃ大違い」



珪藻土塗りを指導する藤間さん(右)

多摩西部

多摩西部支部は6月5日、9会場で住宅デーを開催。全

分会フルで行なうのは、実に3年ぶりとなります。

【本部・稲垣雅也記】2021年の職場での熱中症による死亡者及び休業4日以上業務上疾病者の数は547人となっており、過去3年間の状況を比較すると、死傷者数、死亡者数ともいずれの年よりも下回りました。

クールファン

熱中症対策の切り札

死亡災害は建設業が最多

しかしながら業種別の発生状況は、死傷者数については、建設業・製造業で約4割を占めており、死亡災害は建設業において最も多く発生してお

みると、全体の約8割以上が7月及び8月に発生しており、屋外作業はもとより、屋内作業においても冷却が不十分で高温多湿の室内環境で多

ととなりました。ミドリ安全㈱の『クールファン』シリーズを、11万人の組合スケーラメントを活かした『東京土建特別価格』で斡旋します。

た、パワフルで更に涼しさを追求した「ハイパワーファンセット」も購入できます。購入方法も、ブルゾン十フアン・バッテリーセットだけ

います。また、ミドリ安全にFAX(0120-363-932)または電話(0120-310-355)してください。

この日、高松分会では立川競輪場そばの豊川稲荷神社で住宅デーを行いました。分会長の駄原成行さんは「5月から組合の行事等で日曜はほぼ埋まって忙しかったが、久しぶりにこの会場でやれてよかった」と嬉しそうに話してくれました。今年は住宅相談、包丁研ぎなど定番の内容に加え、全会場でモザイクタイルコーナーを設けたそうです。



今回も成長した青年部の面々

当日は、人数が少なかつたもの

見つけることができました。

品川

分会のやる気尊重

新しい参加者呼び込む

品川支部では、開催日の統一にはこだわらずに、複数週にまたがって各分会で住宅デーが開催されました。好天に恵まれた6月5日には豊分会、二葉分会、豊越分会の3会場で開催されました。

支部では包丁の研ぎ手を増やそうと、支部の藤原延任氏と藤原部長を中心に講師4人で事前に「包丁研ぎ講習」を開催、約20人が参加しました。新たな研ぎ手としてこの日初参加となった豊分会の岡崎新

治さんは、ベテランの富彌良則さんに質問しながら熱心に砥石に向かっていました。「住民が喜ぶ包丁研ぎにしっかり対応して、住宅デーに参加する新しい仲間も増やしたい」と藤原部長。「分会の都合とやる気を尊重」した結果、毎週のように分会を回ることに。しかし、藤原さんは疲れも見せずに、熱心に仲間への声かけを行っていました。

『ひまわり』観て 平和のありがたさ実感

台東



寺山委員長(中央)がウクライナ情勢を説明

【台東・主婦・新藤間洋子記】5月28日、支部会館にて『ひまわり』上映会を15人の参加で開催。遠藤女性会会長の挨拶後、寺山委員長がロシアとウクライナの位置関係や長引く侵攻による食糧危機などの現状を説明しました。

1970年公開の『ひまわり』は、冷戦期にソビエト連邦で初めて西側諸国が撮影したイタリア映画。ソフィア・ローレンのファンだった私は、時代背景など知らずに恋愛映画と思い観ていました。戦争により引き裂かれる男女の悲劇と戦争の傷跡を象徴するひまわり畑、哀しみをたたえたテーマ曲は半世紀経っても記憶に残っています。

夏には参議院選挙があり、自分たちの意見や考えを反映させるためにも棄権はもったいないです。皆さん、ぜひ投票に行きましょう。

【府中国立・書記・佐藤瑞樹記】5月22日、府中国立支部青年部は、「どけんゴカ

の、参加者にはすく好評で、青年部員同士のレースでは、インコースを突きすぎて壁にクラッシュしたり、ドリフトをしようとするままスピンしたりなど、様々なトラブルがあり、終始安全運転を心掛けた部員が1位となりました。ゴーカートの運転も人生と同じで、地道にコツコツとがんばることが大事ですね。参加者した青年部員からは、「実際にゴーカートを体験してみても、楽しいことがわかったから、この経験から次はもっと説得力を持って青年部員にお誘いができるね」という前向きな意見もあり、次回開催に向けて課題も見つけることができました。

府中国立 青年が秩父でGP 地道にコツコツが大事

【府中国立・書記・佐藤瑞樹記】5月22日、府中国立支部青年部は、「どけんゴカ

間決起交流会を行ないました。

春の拡大では、全分会訪問はもちろ

ら、訪問先の分会役員と一緒に地域の青年部員や青年部対象者を訪ねました。その際、今回のイベントや青年部会のお誘い

をしました。

当日は、人数が少なかつたもの

見つけることができました。